

水資源の保全

方針・戦略

気候変動に伴う降水量の変化は、水資源として利用可能な水の量に大きな影響を及ぼします。古河機械金属グループでは水資源の使用効率向上に取り組んでおり、第四期中期削減計画で水資源使用量を2028年度に予想される使用量から2%削減する目標を設定しています。2024年度は9.1%削減し、目標を大幅に上回って達成しました。2025年度からは、生産活動による増減の影響を極力排除するために原単位での削減目標を設定し、水資源の使用効率向上・再利用の促進に取り組んでいます。また、水源地の保全に向けて全国にある社有地の緑化に努め、社有林の維持管理を計画的に行い、各地方自治体や森林組合との協力関係を築き、水資源の保全に努めています。

ガバナンス・体制 リスク管理

ガバナンス体制およびリスク管理の詳細は、環境マネジメントをご参照ください。

[環境マネジメント\(P13\)](#)

指標・目標

2024年度の目標：

- ・水資源使用量の削減：2024年度BAU^{※1}比△1.2%

2024年度の実績：

- ・水資源使用量^{※2}：552千m³(2024年度BAU比△9.1%)

※1 BAU(Business As Usual)：何も対策を講じなかった場合

※2 主要生産拠点における水資源使用量の実績

取り組み

水ストレスの評価

当社グループは、世界資源研究所(WRI)のAqueductを用い、当社グループの主要な拠点について水ストレスを調査しています。その結果、中国やタイの生産拠点において、水ストレスが高いことを確認しており、同地域における水資源使用量(取水量)は約10千m³/年です。

そのため、水資源使用量を2028年度に予想される使用量から2%削減する目標を設定し、水資源使用量および水ストレスの削減に努めています。

なお、2024年度に水質や水量の許可・基準・規制違反は発生しておりません。

水資源使用の効率向上・再利用の促進

当社グループでは生産工程の効率化を推進し、一部の事業所において取水ポンプにインバーターを設置することで節水に取り組みました。これにより、同事業所では節水取り組み前と比較して、水資源使用量を約3割削減することができました。